

スクラム組んで未来を共創



佐藤 ひさよし 後援会 News

発行：佐藤 ひさよし 後援会・大泉町民懇話会

後援会事務所：坂田1-1-1 (パナソニック構内) TEL：0276-61-9926
自宅：仙石2丁目5-21 ~お気軽にご意見・ご要望をお寄せください！~

最近では、コミュニケーションツールのひとつとしてスマートフォンの通話・メールアプリ『LINE(ライン)』を利用する、おじいちゃん、おばあちゃんが増え、お孫さんとのコミュニケーションが増えているそうです！

大泉町も町からの情報発信ツールとして『LINE』を始めました。これは2年前に私が提案し、実現したものです。LINEの利用率はとても高く、情報発信ツールとしては有効です。なぜ、私がLINEの導入を提案したかという、紙媒体である『広報おおいずみ』の削減です。もちろん必要な方には届くようにしますが、家に届いても読まずに捨てられているケースも多くあります。ムダになっているのならやめ、そこで生み出された財源を『子ども子育て政策』にシフトしたいと思っています。

デジタル化はどんどん進んでいきます！「出来ない」と諦めるのではなく「やってみよう！」の気持ちを持ってみてください。一人ひとりの小さな取り組みで『子どもたちの未来は変わります！』

6月定例会ではこんなことが決まりました



内容をチェックし全ての議案に賛成しました

6月定例会 会期：令和4年6月7日～9日

条例関係等・・・	4件	人事関係・・・	3件
補正予算等・・・	1件	その他・・・	2件

合計 10件

この中から1つを Pick up

Pick up①

■発議第4号

「大泉町議会委員会条例の一部を改正する条例について」

新型コロナウイルスの感染が拡大し、私たちの生活様式にも大きな変化がありました。

子どもたちにはタブレットを配布したり、会社勤めの方は在宅勤務なども行いながら接触機会の低減を進めてきたと思います。しかしながら、議会は当然り前のように会議室に集まって会議をしています。

この状況を変えようと約1年前にオンライン会議の実施に向けた条例、規則の改正を要望しました。

私の要望は感染症だけではなく、議員のなり手不足という社会問題、例えば、育児や介護をしながらでも会議に参加できるようにオンラインでの会議開催が可能となるようなルールづくりを要望していましたが、今回の条例改正では、『感染症の拡大と災害発生時』という要件のみでオンライン会議の開催が出来るようになりました。

満足できる内容ではありませんが、一歩、前進できたと思っています。

子育てをしている方、介護をしている方、障がいを持っている方、様々な立場の方々が、当事者として議員という役割を持って、政治参加できる環境整備が必要だと思っています。

これからも『政治のアップデート』を推進していきます。

ヤングケアラーってなに？

出所：厚生労働省HP



ヤングケアラーとは、家族や親族の介護や面倒に多くの時間を費やし、本来受けるべき教育を受けられなかったり、友達と遊ぶ時間が極端に少なく、同世代との人間関係を満足に構築できない子どもの事を言います。

大泉町でも例外ではなくヤングケアラーの子どもたちがいます。町内の中学生にアンケート調査を行った結果、ヤングケアラーにあてはまると回答した子が31人

ヤングケアラーの子どもたちは家族の介護や面倒に時間を取られ、教育(勉強)の時間や友達と遊ぶ時間が極端に少なくなっているため、学力の低下やコミュニケーション能力の低下など、多くの問題を抱えています。

ヤングケアラーとは介護や家事など本来、大人が行う役割(お手伝いの範囲を超えているもの)を行っている子どもの事を言いますか？

ヤングケアラーの状況はどのようなになっている？

すでに、町内にヤングケアラーにあてはまると自認している子どもたちがいるにもかかわらず、大泉町にヤングケアラー支援策はありません。

担当部門は相談体制の整備を行うと答弁されましたが、それだけでは解決はできません。

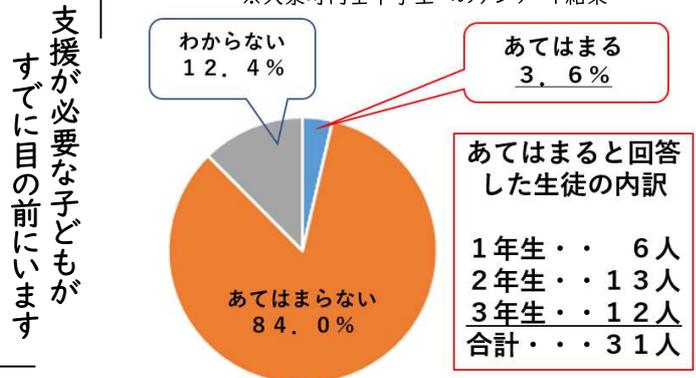
今、私たちが行うことは、関係する部署・機関との支援体制の基盤づくりと支援に必要な予算の確保です。

大泉町にヤングケアラー支援策はあるのか？

いました。さらに自分がヤングケアラーにあてはまるかどうかかわからない子どもたちも一定数いる状況です。

ヤングケアラーにあてはまると思えますか？

※大泉町内全中学生へのアンケート結果



支援が必要な子どもがすでに目の前にいます

ヤングケアラーの正しい理解、相談体制の整備、関係部署・機関との連携、予算の確保について担当部門より早急に整備するとの答弁がありましたので、大泉町でもヤングケアラー支援が進むこととなります。

ヤングケアラー支援の難しい点はお手伝いの範囲が人それぞれ違うという点や家族なのだから介護や面倒は、当たり前と考えられることが挙げられます。そういったことから、当事者と支援する側がよく話し、その子供や世帯にどのような支援が必要なのかを決めなくてはなりません。

子どもたちが社会に出て活躍できるように環境整備を推進していきます。

一般質問の様子が動画で閲覧できます！



大泉町議会インターネット中継



検索

大泉町公式LINEアカウント



- 町の施策や事業に関する情報
- 町のイベントなどの情報
- 災害情報 など

QRコードを読み取って『友だち』追加をしてください！